

氏名 (3年次既修者) 法科大学院等の在籍年次 3年

*このレポートは主としてこれからインターンシップに行くことを考えている人達に情報提供を行うことを目的とするものです。以下の項目について適宜行数を増やしながら書き込んでいってください。文字数及び頁数に制限はありません。

*このレポートは、記名で法学研究科のウェブサイトに掲載されます。もし氏名掲載を希望しない場合には、その旨をお知らせ下さい。

*重要情報についてはできる限り具体的に記載して下さい。また、後輩の方達に向けた率直なアドバイスをお願いいたします。

1 受入事務所と滞在期間

萬國法律事務所

2018年8月23日から同年9月14日まで

2 事務所の業務・構成・勤務条件及びインターンシップの内容等

萬國法律事務所は、台湾有数の大手法律事務所であり、顧問先として多くの日本の有名企業を有しています。部門制が採用されており、所属弁護士は、三つの部門（訴訟部、企業法務部、IT知財部）のいずれかに配属されています。私たちインターン生は、それぞれ異なる部に配属されました。ただし、業務は、同室で行いました。

私は、IT知財部に配属され、次の活動・業務を行いました。地方裁判所の見学、IP裁判所の見学、秘密保持契約の和訳、その他契約書の日本語チェック、内容証明書の和訳・日本語チェック、日台労基法のリサーチ、外国人不法労働者に関するリサーチ、再生医療の勉強会、日本企業との法律相談の同席、英文記事の和訳、シンポジウムへの参加、模倣品取り締まりに関する法令リサーチ、模倣品リストの作成 etc。

3 宿舍及びその他の生活環境について

私は、中山國小駅を最寄駅とする、ユースホステルとビジネスホテルが融合したようなホテルに宿泊しました。事務所からMRTで30分はかからない距離にあります。

生活環境に不満な点はなく、非常に快適に過ごせました。ただし、急に大雨になることがあり、天候の変化には気をつける必要があります。中国語が話せれば、より楽しめたかとは思いますが、現地の方々は、親切な方が多く、英語ないし日本語を話せる方も多いので、中国語が話せないことで、生活ができないということはありませんでした。

4 出発に向けた準備等について

中国法の集中講義を受講しました。

5 インターンシップに要した費用

20万円程度でした。内訳は、宿泊費12万円、海外保険8千円、食費3万円、交通費雑費4万円となります。

6 これからインターンに行く人達へのアドバイス等

充実したスケジュールで、あっという間にインターンは終わってしまいます。渡航前に、もう一度、インターンの参加目的を確認しておくといいと思います。あまりの充実さに、良くも悪くも、参加目的を忘れてしまいます。

語学に関しては、中国語を勉強しておくといいと思います。業務をする上で、中国語が話せなくても問題ないと思いますが、法廷は、もちろん中国語ですし、勉強会も中国語で行われます。

メンターの先生と連絡が取れないと迷惑をかけることがありますので、ポケットwifiを借りる等して、ネットに接続できるようにしておくいいと思います。

7 インターンシップの有用性等に関する評価及び感想

私の場合、三年次の夏季休暇での参加でしたので、約一ヶ月の間、勉強から離れることを不安に思っていました。しかし、帰国してから思い返せば、この決断が間違いではなかったことを確信しています。

やや大げさなのかもしれませんが、渉外法務の最前線に身をおくことで、グローバルに事業展開している企業が、いま、弁護士にどのような能力を求めているのか、そのような能力を身につけるにはどうすればいいのか、自分だったらどのようなことができるか等、普段の

ロースクール生活では考えることの無いことを自然と考えるようになります。今回の海外インターンを通じて、弁護士になるまでにどのような準備をしなければならないのか少しわかったような気がします。また、法的素養を備えた人材が企業から求められていることも実感することができ、平静を取り戻した現在も学習のモチベーションとなっています。

海外インターンに参加すべきか、どこの事務所にすべきか悩んでいる方もいるかと思いますが、萬國法律事務所は、台湾有数の大手法律事務所であり、台湾中から優秀な弁護士が集結しています。このような大手法律事務所が、ご好意で、インターン生が様々な経験が出来るように、準備してくださっています。滅多にできない非常に貴重な経験ですし、実際にも充実したプログラムでした。また、インターンに参加すると、自ずと普段の勉強から一時的に解放されるので、心身ともにリフレッシュすることができます。進路のいかんにかかわらず、参加されることをお勧めします。

最後になりますが、今回のインターンシップに関して、尽力してくださいました神戸大学の齋藤先生、きめ細やかなサポートをしてくださった教務課の井上様、そして、萬國法律事務所の黄先生、陳先生、メンターの林先生、事務所の皆様に、お礼を申し上げたいと思います。皆様のお陰で、非常に有意義な時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。